

(仮称) つくば市陸上競技場整備基本計画

障害者スポーツ・バリアフリーに関するワークショップ

意見・提案書

1 陸上競技場本体

- (1) 招集場所等に、目印になる色分けやマークを付けてほしい。

2 観客席

- (1) 雨天時や夏場の暑さ対策として、観客席に屋根を設置してほしい。
- (2) 車いす席の隣には、介助者用の席を設置してほしい。
- (3) 車いすから観客席に移りやすいように、折り畳み式ではなく固定式の座席を設置してほしい。
- (4) 車いす席からのサイトラインを確保されるようにしてほしい。
- (5) 車いす席が、違う目的で使用されることがないようにしてほしい。

3 管理棟

- (1) 車いす等での出入りがしやすいように、部屋やエレベーターの出入口は広めにしてほしい。
- (2) 気持ちを静めることができる部屋として、カームダウン・クールダウンルームを設置してほしい。
- (3) 階段の段鼻は、視認性の高い色合いにしてほしい。
- (4) 更衣室やシャワー室等もバリアフリーにしてほしい。
- (5) エレベーターには延長ボタンを付けてほしい。
- (6) ポッチャ等ができる広さの部屋を設置してほしい。
- (7) 壁と床で色は変え、床はシンプルなデザインにしてほしい。
- (8) 陸上競技場外の園路でジョギングをする人等が更衣室を利用できるようにしてほしい。
- (9) 更衣室は異性介助ができるような更衣室を用意してほしい。
- (10) エレベーターの設置する場合は、3箇所程度は設置してほしい。
- (11) 観客席のあるフロアには、トイレを設置してほしい。
- (12) 日常利用時や災害時に、車いす利用者が観客席からエレベーターを使わなくても移動ができるように、スロープを設置してほしい。
- (13) 多目的会議室やピロティ広場は、広めに設置してほしい。

4 地域の交流拠点/コミュニティ広場

- (1) 芝生にする場合は、車いすやベビーカーの利用について配慮してほしい。

5 多目的広場

- (1) 芝生にする場合は、車いすやベビーカーの利用について配慮してほしい。
- (2) 雨天走路には屋根を設置してほしい。

6 園路（ジョギング・ウォーキングコース）

- (1) 幅が広いコースを設置してほしい。
- (2) 衝突の危険を避けるために、走る方向を一定に定めることと、注意喚起の看板を走路上に設置してほしい。
- (3) 木の根がでこぼこしていると車いす等で移動しにくいいため、なるべく影響しないように樹木を整備してほしい。

7 トイレ

- (1) 障害者が多く集まる大会が行われることを考えて、障害者用のトイレの個数は多めに設置し、設置場所も考慮してほしい。
- (2) ユニバーサルベッドが最低1箇所あり、介助者も動けるスペースのある広めのトイレを設置してほしい。
- (3) 一般用のトイレにも手すりを設置してほしい。
- (4) トイレの入口ドア等が男女別に色分けされていると、マークがなくてもトイレだと分かるので、目立つように色分けしてほしい。
- (5) トイレの内部がどのような構造になっているかが予め分かるように、入口付近にトイレや洗面台の個数・場所等が示された案内板を設置してほしい。
- (6) 洗面カウンターについて、水栓の位置を手前に付けてほしい。

8 防災機能

- (1) 災害時等に、ランプ等で危険を知らせるシステムを設置してほしい。

9 電気設備

- (1) アナウンスが聞こえない場合があるため、電光掲示板を設置してほしい。

10 駐車場・駐輪場

- (1) 障害者用駐車場には、一部屋根を設置してほしい。
- (2) 車止めがあると、車の後部ハッチから車いすを出し入れするスロープやリフトが降ろせないため、車止めの高さについて配慮してほしい。

- (3) 車止めの幅が広すぎて、その間を車いすが通れないことがあるので、車いすが通れる幅を確保してほしい。
- (4) 一般車用と障害者用で区別しすぎると、障害者が多く集まる大会等を行った場合に、かえって使いにくい場合があるため、考慮してほしい。

11 バス停留所

- (1) 障害者や中高生等は、公共交通機関で来ることが多いため、競技場の近くにバス停を設置し、十分な便数が発着できるようにしてほしい。

12 ゾーニング・動線計画

- (1) 駐車場からウォームアップ場、管理棟、競技場までが、バリアフリーでコンパクトな動線になるように整備してほしい。
- (2) トラック内に建物や樹木の影が映ると、トラックのラインの視認性が悪くなり競技に影響が出るため、建物や樹木の配置を考慮してほしい。

13 案内・サイン・ピクトグラム

- (1) 大きくて色が目立つ案内表示やピクトグラムを設置してほしい。
- (2) 動線上に、センサーの音声案内やデジタルサイネージを設置してほしい。
- (3) 入口から受付まで等、メインとなる動線には必ず点字ブロックを敷いてほしい。
- (4) 点字ブロックの色は、床と判別しやすい色にしてほしい。
- (5) 点字ブロックの高さは、新国立競技場の例を参考に検討してほしい。
- (6) 点字ブロック以外にも、視覚障害者用の誘導マットといった製品もあるので、導入を検討してほしい。

14 障害者スポーツ

- (1) 障害者スポーツに関する情報を広く周知してほしい。
- (2) 平日の日中等に、気軽に障害者スポーツができる環境を整えてほしい。
- (3) 障害者が安心して利用できるよう、障害者手帳を持っている人のみが利用できる日を不定期でも設けてほしい。
- (4) 障害者スポーツの練習、イベントや大会等の予約が取りやすいようにしてほしい。
- (5) 障害者が一人で施設を利用できるように、サポーターの設置を検討してほしい。
- (6) 障害の有無に関わらず誰もが気軽に参加できる競技会の開催を検討してほしい。

- (7) 聴覚障害者用のランプ式スタートシステム等、各種障害者スポーツ用の用具を充実させてほしい。

15 その他

- (1) 競技場のスタッフには、障害平等研修（DFT）、視覚障害や聴覚障害等の体験研修を受講してもらいたい。
- (2) 施設の設計は、「Tokyo2020 アクセシビリティガイドライン」や「大阪・関西万博ユニバーサルデザインガイドライン」等の基準で設計してほしい。
- (3) 有識者や当事者が、設計図面をチェックできるようにしてほしい。

障害者スポーツ・バリアフリーに関するワークショップ

開催日

第1回目 令和5年4月22日(土) 13:30~15:30

第2回目 令和5年6月24日(土) 10:00~12:00

参加者

No.	氏名	所属等
1	香田 泰子	筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 教授 (仮称)つくば市陸上競技場整備基本計画策定検討会議委員
2	中島 幸則	筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 教授
3	根目沢 浩幸	スペシャルオリンピックス日本・茨城 副会長 茨城県障がい者スポーツ指導者協議会 理事
4	原口 朋子	社会福祉法人創志会 つくばライフサポートセンターみどりの 施設長
5	川島 映利奈	つくば自立生活センターほにゃら 代表
6	生井 祐介	つくば自立生活センターほにゃら
7	小野崎 結香	筑波技術大学大学院 情報アクセシビリティ専攻
8	植手 昂紀	筑波大学大学院 システム情報工学研究群社会工学学位プログラム都市計画専攻
9	山本 彩佳	筑波大学 人間学群障害科学類専攻
10	丹羽 真理子	一般応募

※敬称略・順不同